

未来に向かて

西条市はこの11月1日に合併20周年を迎えます。この記念の年を市民みんなで祝い、改めて未来へ向かう気持ちになればと願って、この特集をお届けします。



2004～2008

- 2004：2市2町(西条市、東予市、丹原町、小松町)が合併し、新・西条市が誕生
- 2005：新兵器大橋開通、永納山城跡が国史跡に指定
- 2006：東予有料道路を無料化
- 2007：西消防署新庁舎完成、四国鉄道文化館・観光交流センター・十河信二記念館がオープン
- 2008：小学校就学前までの乳幼児医療費を全面無償化、ビバ・スポルティアSAIJOオープン



2009～2012

- 2009：西条図書館・丹原図書館オープン、小中学校教育用電子黒板設置事業スタート
- 2010：東予港が国の「重点港湾43港」に選定される
- 2011：道前平野農業水利事業「志河川ダム」の共用を開始
- 2012：休日夜間急患センター開所、小中学生入院医療費助成事業開始



2017～2020

- 2017：愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会開催
- 2018：ベトナム・フエ市との友好都市提携締結、市内3カ所が四国八十八景に選定(休暇村瀬戸内東予、横峰寺、石鎚神社頂上社)
- 2019：子育て交流センター「ここてらすこまつ」オープン、オーストリア共和国・セーボーデン市との友好都市提携を締結
- 2020：宝島社「2020年版住みたい田舎ベストランキング」若者世代部門で全国1位を獲得、市税などのコンビニ・スマホ収納の運用開始

2013～2016

- 2013：高齢者路線バス「いきいきバス」運行開始、五百亀記念館オープン
- 2014：西条市役所新庁舎開庁、市民憲章制定
- 2015：石鎚クライミングパークSAIJOオープン
- 2016：市民活動支援センター(SSC)オープン、西条市地域創生センターオープン



2021～2024

- 2021：GIGAスクール構想をもとに小中学校に1人1台タブレット端末、高速Wi-Fi環境を整備、SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業に選定
- 2022：千町の棚田が農林水産省「つなぐ棚田遺産」認定、西条市こどもの国をリニューアルし複合施設「SAIJO BASE」オープン
- 2023：石鎚黒茶の製造技術が国の重要無形民俗文化財指定、ねんりんピック愛顔のえひめ2023開催
- 2024：こども医療費無料化の対象を18歳まで拡大、フィリピン共和国ナガ市と教育分野におけるパートナー協力協定を締結



二十歳の西条市 (9月末現在)

- ・人口：103,639人(愛媛県4位)
- ・世帯数：50,929世帯
- ・面積：510.04km²(愛媛県3位)
- ・農業：経営耕地面積が四国一、はだか麦やあたご柿、春の七草の収穫量は全国トップレベル
- ・工業：工業生産(出荷額)…1兆343億円(愛媛県3位、2021年)

記念イベント続々開催！

合併20周年の年も大詰め。
11～12月のイベントをお知らせします。



▲詳細は

■11/1(金) 夜空へ届け SKY ART

17時～20時30分／加茂川東光河川敷
花火とだんじりの灯で夜空を照らします。
マルシェも開催。



■11/2(土) 西条市合併20周年記念式典

10時～12時／総合文化会館
合併20周年記念表彰の表彰式や当市出身
アーティストのLumiさんと高校生のコ
ラポパフォーマンスで盛り上げます。



■11/2(土) SWEETサイクルフェスタ

～みたり、のったり、さわったり～
10時～15時／西条西部公園

■11/9(土)・10(日) ゼット杯2024

リトルリーグ野球西日本選手権大会
8時30分～17時30分／市内会場3カ所



■11/30(土)・12/1(日)

伊予西条鉄道フェスタ2024
10時～15時／鉄道歴史パークinSAIJO
※詳細は11ページ

■12/1(日) 名球会ドリームフェスタin西条

11時～／東予運動公園野球場 ※詳細は10ページ
日本の野球界を沸かせたレジェンドたちが西条市に集結！



おわりに：20年を振り返って

西条市合併20周年記念事業事務局 杉森哲史

いまの西条市は西条市、東予市、丹原町、小松町が合併して誕生し、四国一広い経営耕地面積を持つ農業都市かつ四国屈指の工業製品等出荷額を誇る工業集積地となりました。また、西日本最高峰の石鎚山や瀬戸内海、これらをつなぐ川といった豊かな自然を有する町でもあります。この多種多様な魅力あふれる西条を守り、それぞれの地域の先人が守り育ててくれた文化や歴史、価値観を理解し、次の世代へつなげていくことが大切だと感じています。11月から12月にかけては、さらに多くのイベントを企画していますのでぜひご参加ください。合併20周年を一緒に祝い、楽しみましょう！

豊かな自然と皆さんとの 橋渡し役として

昔に比べ、子どもたちが自然と身近に接する機会が減ってしまった今、加茂川や石鎚山のような豊かな自然に気軽に触れられる西条の環境はととても豊かだと思います。新潟から西条に来て5年。大保木に住み、地域の方にたくさん応援してもらいながら一つずつ事業を育ててきました。今後も西条に住み続けますし、住むまちの未来に明るい希望を持ち続けられるよう、身近なエリアの自然をしっかり管理しつつ楽しめる場所にしていきたいです。最近自然に触れてないなという方もぜひ遊びに来てください。



石鎚ふれあいの里
石鎚子どもキャンプ
石鎚別荘ハレとあお
田村 裕太郎さん (大保木)



おいしい酒が生まれる環境をいつまでも

約20年前に東京から帰郷し、自然や食の豊かさ、人の温かさに魅力を感じました。今は明治10年から続くお酒造りを通じて、そんな故郷の魅力を日々発信しています。先人から引き継いだ自然や歴史などを後世に引き継ぐのが僕らの使命ですね。毎年春、多くの方が訪れて下さる当社の「蔵開き」は地域の皆さんに支えられて2000年から続きます。西条は魅力的な場所や人、食が集まる町。それらが線としてつながり、多くの方が市内を周遊し、地域もさらに豊かになればいいですね。



せいりょう
成龍酒造
ひでとも
首藤 英友さん
(周布)

訪れたい街の魅力を つくっていききたい

100年続く当社の代表を引き継いで1年半、地産地食で「しあわせな食卓」を創るための経営をがんばっています。西条は全体にお祭り文化が流れているからか、気に掛けてくれる人が多いですね。テレビのコンテストで当社が日本一になった時も、街ぐるみで応援いただきました。お店にも、何世代にもわたって来ていただけるのがうれしいです。西条の良さを誰よりも知っているのは、住民である私たち。それぞれの分野で、まちの魅力を磨き上げていきましょう！

マルブン
真鍋 一成さん
(小松)

大好きな丹原を100年先も

岡山出身で、鳥取の農協職員として勤めたのち、2007年に西条に来て夫婦で果樹の栽培や販売をしています。先輩方の助けもいただき10年かけて事業が軌道に乗り、今は「CREW TAMBARA」というチームを丹原の事業者仲間と作って耕作放棄地や空き家などの課題に取り組んでいます。仕事柄、丹原を取り巻く自然環境の素晴らしさに感謝していて、この美しい農村を残したいと思ったから。農家以外の人も農業に携われる環境づくりをしているところなので、ぜひ遊びに来てくださいね。



くらーたんばら
輝らり果樹園、CREW TAMBARA
金光 史さん (田野)

西条市合併20周年記念式典では、
この4人が西条の未来について
熱く語り合います！
ぜひ聞きに来てください。



いまを創るひとの声

さまざまな分野で活動する
市民の皆さんのコメントをお届けします。